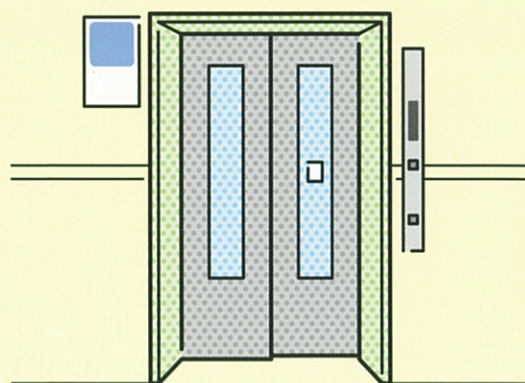
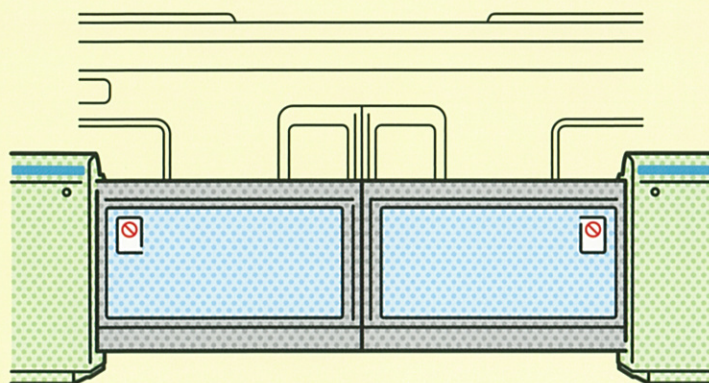


阪急電鉄における 鉄道駅バリアフリー料金制度の活用について



全駅にホーム柵を設置するとともに、全駅のバリアフリー化を目指します

阪急電鉄では現在、ホームの安全性を高め、すべてのお客様が安全に、また安心してホームをご通行いただけるよう、十三駅(3・4・5号線)ならびに神戸三宮駅に可動式ホーム柵を設置していますが、2040年度末頃までに、全駅にホーム柵(可動式または固定式)を設置するよう進めてまいります。また、2022年度中には春日野道駅でのバリアフリー設備の整備を完了する予定です。中津駅についてもエレベーターの設置等によりバリアフリールートを確認するとともに、可動式ホーム柵を併せて整備することにより、全駅のバリアフリー化を目指してまいります。



可動式ホーム柵
(十三駅)



可動式ホーム柵
(神戸三宮駅)



エレベーター
(西院駅)



エレベーター
(洛西口駅)

[ご参考：阪急電鉄のバリアフリー整備方針]

2021～ 2025年度	・お客様に安心してご利用いただけるように、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵を整備します。 ・車両にフリースペースを整備します。 ・各駅に設置のエスカレーター、エレベーターの更新を行います。
2026年度以降 (2035年度まで)	・お客様に安心してご利用いただけるように、ホーム保安度の向上を目的として可動式ホーム柵ならびに固定式ホーム柵、ホームと車両の段差隙間解消に資する設備を整備します。 ・中津駅にバリアフリー設備(エレベーター)を整備します。 ・車両にフリースペースを整備します。 ・各駅に設置のエスカレーター、エレベーターの更新を行います。

阪急電鉄における 鉄道駅バリアフリー料金制度の活用について



鉄道駅バリアフリー料金の収受について

阪急電鉄では、2021～2035年度の間のバリアフリー設備を整備するための費用は、900億円を超える見込みですが、この整備をより迅速かつ着実に進めるため、「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用させていただくこととしました。今回、運賃に加算して収受させていただく鉄道駅バリアフリー料金は、全てバリアフリー設備の整備費等に充当いたします。

〔料金設定額(大人)〕

普通券	通勤定期券			通学定期券
	1か月	3か月	6か月	設定なし
10円	380円	1,080円 または1,090円	2,050円 または2,060円	

◎小児運賃は鉄道駅バリアフリー料金加算後の大人運賃の半額となります。(10円単位に切り上げ)

◎詳細につきましては、阪急電鉄ホームページでお知らせします。

◎入場料金も併せて変更いたします。(現行:160円 → 変更:170円)

〔収受期間〕

2023年度～2035年度
(2036年度以降も継続予定)

〔設定区間〕

阪急線全線
(神戸高速線を除く)

〔収受開始時期〕

2023年4月1日(土) 予定

〔ご参考：鉄道駅バリアフリー料金制度とは〕

第二次交通政策基本計画(2021年5月 閣議決定)において示された「誰もがより快適で容易に移動できる、生活に必要な不可欠な交通維持・確保」という基本方針のもと、2021年12月に国により創設された制度であり、ご利用のお客様に薄く広くご負担いただくことで、年齢や障がいの有無に関わらず全てのお客様に安全・安心・快適にご利用いただける環境の整備を加速させることを目的としています。

なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。